

平成22年度総会の報告

昨年、新型インフルエンザの流行で急きょ中止になり、2年振りとなる津高東京同窓会は、5月29日(土)、霞が関ビル35階の東海大学校友会館にて、144名の出席のもと開催されました。

昨 years が、役員改選の年に当たっていましたが繰り延べられ、今年手続きが行われました。会計監査をご担当いただいていた、石丸哲様(昭和30年卒)が退任され、新たに、堀川幸夫様(昭和34年卒)が選出され、その他の、特別顧問、会長、副会長、会計監査、事務局長は、全員留任の原案が、皆さんの拍手をもって了承されました。

津高東京同窓会の谷口武会長(昭和30年卒)より、昨 years の中止となった総会の当番幹事の昭和37年卒の方々へのねぎらいの言葉の後、恩師、ご来賓の紹介があり、「創立130周年、津高同窓会設立50周年、そして東京同窓会が復活して20年目と節目の重なる会合が開催できたことをみんなで喜び、さらに発展させていきましょう」とご挨拶がありました。

ご来賓を代表して、三重県立津高等学校同窓会会長の飯田俊司様(昭和36年卒)より、創立130周年記念事業への取り組みの様子、「母校の教壇」への参加の呼びかけがあり、ここ2年ほどのふるさと津の移り変わりや話題をお話いただきました。

引き続き、今年4月に着任された、榎本和能校長より、ご経歴とご着任後の津高への感想、これからの抱負をお聞かせいただきました。「生徒から先に挨拶の声を掛けてくる。進学校でありながら、90%を超える生徒がクラブに加入し、成果を上げている。また、きめ細かな、人を育てる教育がおこなわれている。」と話され、伝統が守られ、引き継がれ続けていることを知り、卒業生として嬉しいお話でした。

ご在任中は、英語のご指導をいただいた杉浦茂夫先生(陳川昭和24年卒、津高昭和25年卒)のご発声で乾杯し、卒業年次を中心としたテーブルで懇親会がスタートしました。

懐かしく、楽しい会話のはずむ中、今年3月に卒業し、4月に上京、学生生活を始めたばかりの新入会員2人が紹介されました。取出欣也君(東大)は、家庭教師先募集中!、深草亜悠美さん(ICU)は、キャンパスでは、世界各国の言葉が飛び交っていると、フレッシュな話を披露し、会場から、歓迎の大きな拍手が湧き上がりました。

一時間半近くを経過したところで、恒例の席替タイムとなり、参加者の現住所による地域別テーブルが14卓できあがりしました。各テーブル共、先輩・後輩入り混じっての「ご近所の力」が整ったところで「津高検定2級」と題されたクイズ大会が始まりました。

津高の歴史、校歌、思い出アルバム、ふるさと津の街に因んだ問題の数々で、大いに盛り上がり、時の経つのを忘れ、みんなで楽しみました。杉浦先生に加わっていただいたKチーム(神奈川5)が、見事全問正解で優勝の栄誉に輝きました。

クイズ大会の興奮も冷めやらない中、「母校の教壇」にも立たれる、津高大阪同窓会会長の奥田務様(昭和33年卒)から、ご挨拶をいただきました。引き続き、三重県立津高等学校同窓会副会長の竹林武一様(昭

和37年卒)のいつもお元気でユーモア溢れるお話で一段と和んだところで校歌斉唱に移りました。

最初に陳川の校歌を昭和18年卒のお二人に谷口会長も参加されて歌い、続いて三重桜の歌をご出席の中では最高齢の昭和11年卒のお二人と昭和20年入学の方々に当番幹事の38年卒の女性も参加して合唱しました。最後は、津高校歌を平成年度の卒業生が壇上のマイクを中心に集まり、会場の参加者全員で歌いあげました。

宴も終わりに近づき、来年の当番幹事をご担当いただく39年卒の方々を代表して松浦修さんから「来年も大いに期待してください」と力強い言葉があり、バトンが引き継がれました。

最後を、14年の長きにわたり数学をご指導いただいた、出口健生先生に締め言葉をいただき、来年の5月28日(土)、同じこの会場での再会を約して、本年度の総会はお開きとなりました。

当番幹事から一言

皆様、ご出席ありがとうございました。津高検定2級では、大いに楽しんでいただくことができ、嬉しく思っています。しかし、せっかく心通じ合うテーブル仲間ができたのに、ゆっくり語り合っていただけの時間がなくなってしまいました。この続きは、次年度総会での再会まで、育てておいていただくと幸いです。

初め「幹事って大変!」と思いつつ引き継ぎましたが、いざスタートすると、津高時代の運動会の仮装行列、文化祭に向けての準備、そのようなノリでどんどん進んでしまいました。40年振りに青春をした思いであり、また、新たな同期の絆ができ、これからの人生の仲間としての新たなスタートにもなりました。お世辞でもなく、良い子振りっ子する訳でもなく、このような機会が得られたことに心から感謝し、当番幹事を終えさせていただきます。

不行き届きの点、不快に思われた点など多々あったことと思います。どうか、同窓生の名のもとにお許しいただけますようお願いいたします。

(当番幹事38年卒一同)